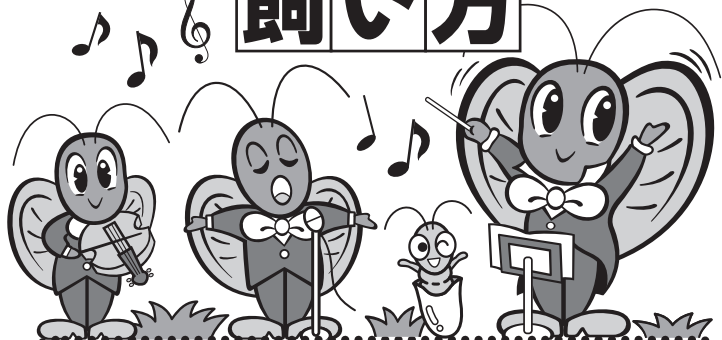




スズ虫め

飼い方



用意するもの

飼育マット



タマゴのかえし方

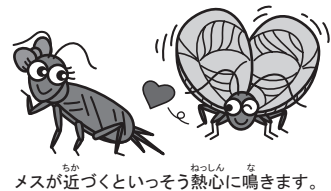
スズ虫はタマゴで冬を越し、翌年の初夏（気温が24~25℃の頃）にふ化します。ふ化の準備が遅れるとかえられないことがあります。

- 1** 湿り具合を確認しながら数回に分けて
床土全体にミネラルウォーターまたは保水液をしみ込ませます。水分が多すぎるとふ化しない場合がありますので、数回に分けて、湿り具合を確認しながら給水するようにします。
- 2** タマゴを床土の上に平らにまく
スズ虫のタマゴを中の土ごと床土の上に平らにまきます。床土の中に埋めたり、床土をかけたりの必要はありません。以降は、床土の乾燥具合を確認しながら、水分を与えるようにします。
- 3** 止まり木を入れて脱皮のための足場をつくる
タマゴは、白色からだんだん薄茶色になり、気温が24~25℃の時期になるとふ化します。ふ化したら止まり木を入れ、脱皮をする場所を作ります。
- 4** 成長したら大きなケースに分ける
エサは、にぼしとよく水洗いしたナスやキュウリなどを与えてください。幼虫は脱皮をくり返して大きくなります。成長してケースが狭くなったら大きなケースに分けて飼育してください。

オス・メスの見分け方

オス **メス**

オスはメスにくらべて羽の幅が広いのが特長。この羽をすりあわせて美しい声で鳴きます。メスはおしりに長い産卵管がのびています。タマゴは産卵管をマットにさして産みます。



メスが近づくといっそう熱心に鳴きます。

セット例

乾燥やコバエの侵入を抑えるため、ディフェンスシートをはさみます

止まり木は脱皮の足場や隠れる場所になります

キュウリ・ナスは串にさして与えます

スミにはケース内の保湿やカビをはえにくくする効果があり、止まり木に最適です。

飼育マットを深さ3~5cmまで入れます

飼育のポイント

直射日光に当てない

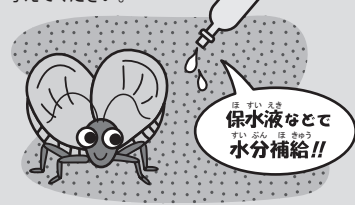
スズ虫は、暗い場所を好む夜行性の昆虫です。直射日光の当たらない、涼しいところで飼いましょう。



暗くて、涼しいところが好き

水分補給

飼育マットが乾きすぎないように、ときどき適度に水分を与えてください。



保水液などで水分補給!!

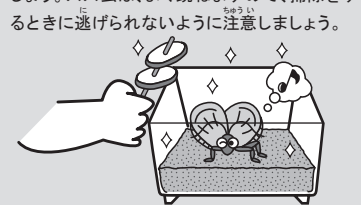
エサは「野菜」と「にぼし」を与える

エサは、よく水洗いしたキュウリやナスなど、「にぼし」の両方をバランスよく与えてください。野菜だけでは、ほかのスズ虫を食べてしまうことがあります。



いつも清潔にしておく

エサは、腐ったり、カビがはえたりしないようにこまめに取りかえて、いつも清潔にしておきましょう。スズ虫は、よく跳ねますので、掃除をするときに逃げられないように注意しましょう。



よりかわいい飼育方法は、専門書等を参照してください。